

あけぼの荘だより



2023年5月号

新緑の香る季節となりました。今年の大連休は、新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、各行楽地は大勢の人で賑わったようです。感染症法上の位置づけも変更され、感染予防対策も緩和されつつあります。ただ、当施設は、重症化リスクの高い方が多くいらっしゃいますので、できる感染予防対策は継続していく方針です。皆様におかれましても、当施設にお越しの際はマスクの着用等、感染対策にご協力下さい。

4月のトピックス



誕生会(入所)

誕生会を行いました(入所)

4月19日(水)に誕生会を行いました。新型コロナウイルスの感染状況が、落ち着いてきているので、久しぶりに、1、2階合同で実施する事ができました。

アトラクションでは、職員が脚本した時代劇を披露しました。よく知っている職員の熱演に、利用者の皆様だけでなく、職員も手を叩いて笑う姿が見受けられ、盛り上がった誕生会となりました。



誕生会(デイケア)

誕生会を行いました(デイケア)

4月19日(水)に誕生会を行いました。今月の誕生会は、「春を楽しんで欲しい」をテーマに、イチゴ狩りゲームを行いました。S字フックにぶら下げたイチゴを、棒を使って取るといった、リハビリを兼ねたゲームを行い、皆様は試行錯誤をしながらも上手に取られていました。

また、筍が伸びていくように、紙コップを積み上げ競争も行いました。笑ったり、応援したりと、楽しい時間を過ごされていました。

今後の予定(5月10日~6月10日)

5月17日(水) 誕生会 14時~15時

新型コロナウイルス感染症対策の為、誕生会は、入所とデイケアで別々に行い、職員がアトラクションを計画しております。

褥瘡委員会の紹介

人間は、人生の1/3を寝て過ごすと言われるほど、睡眠は生活の中で大きな意味を占めます。私たちは、睡眠時に同じ体位を続けていると、無意識に寝返り(体位変換)を打っています。しかし、上手く寝返りが打てないと「褥瘡」と言われる「床ずれ」ができます。そのため、あけぼの荘では褥瘡予防のためにエアーマットを使用しています。

昨年からエアーマットを変更し、現在のエアーマットは15分～30分に1度自動で体位変換を行い、体圧を分散してくれる物です。また除湿や保温機能も備わっており、褥瘡の発生も減ってきています。

実際に私たちも体験してみましたが、マットレスが自動で上下左右に動き、しっかりと除圧されているのが分かり、寝心地が良く気持ちよかったです。

また、褥瘡委員会では褥瘡マネジメント加算取得の一連の流れを、あけぼの荘内で浸透させるべく活動しています。

今後もエアーマット等を使用し、褥瘡発生率軽減に取り組んでいきます。



<ボランティア募集中>

当施設では、以下のようなことお手伝いをしていただけるボランティアの方を募集しています。申し込み、問い合わせなどありましたら、下記の担当者までお気軽にご連絡下さい。

- 行事(誕生会やデイケアバスハイクなど)のお手伝い
- ご利用者への書道、手芸などの指導
- 誕生会(原則毎月第3水曜日14時から15時)の際の催し物の披露



<編集後記>

新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置づけが2類相当から5類相当に変更され、これまでの感染予防対策等が大幅に緩和されています。ワクチン接種に関しても、高齢者は春と秋の年2回接種を行う方針となりました。当施設でも5月と6月の2回に分けて春のワクチン接種を、実施する予定です。日常の感染対策に加えて、ワクチンも実施しながら、感染予防対策を継続して行ければと考えています。



利用相談・見学希望・
ボランティアの相談・各種問い合わせ窓口
介護老人保健施設 あけぼの荘
支援相談員 今村 明広・永井 尚子
木川 真由美・爪田 諒一
電話 0947-46-1750